

平成24年度

学校説明会資料 募集要項・願書



聖ヨゼフ学園中学校

校 訓

信 望 愛

ΠΙΣΤΙΣ

ΕΛΠΙΣ

ΑΓΑΠΗ

信仰・希望・愛の力によって一人ひとりが生かされていくように、この三つの力（徳）を「信・望・愛」の校訓として掲げています。この校訓の精神は、校歌の中に表わされています。

校 歌

- 一、 み教への道を 日ごと歩まん
清き心もて 日々を学ばん
真理なるみ神を信じ
栄えの日まで 友よもろともに
- 二、 み誓いの幸に 日ごと進まん
直き心もて 日々を励まん
永遠の生命を望み
栄えの日まで 友よもろともに
- 三、 聖心の愛に 日ごと生きなん
明き心もて 日々を和まん
人の世に灯となり
栄えの日まで 友よもろともに

学園の沿革

- 1898年（明治31年） ポール・ワトソン神父によりアトメントのフランシスコ会創立
1948年（昭和23年） アトメントのフランシスコ会来日
本部を鶴見に置き日本での活動を開始
1953年（昭和28年） 鶴見聖ヨゼフ小学校設立



初代校長 勝野巖神父



ヨゼフ館（旧鶴見教会）

- 1956年（昭和31年） 校名を聖ヨゼフ学園小学校に改称
1957年（昭和32年） 聖ヨゼフ学園中学校設立
1960年（昭和35年） 聖ヨゼフ学園高等学校設立
1984年（昭和59年） 現校舎の竣工
1985年（昭和60年） 勝野講堂の竣工
1993年（平成5年） 創立40周年記念諸行事
1996年（平成8年） 3層5階建ての現体育館の竣工
2003年（平成15年） 創立50周年記念諸行事
2010年（平成22年） 小原館の竣工



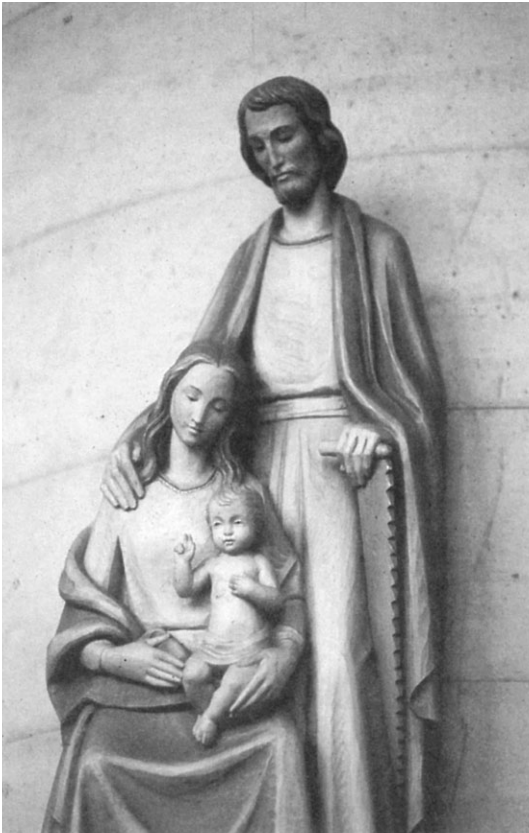
小原館



現校舎
（正門より）

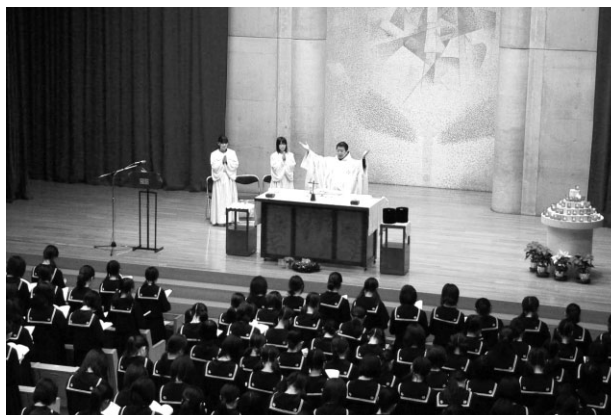
学園の教育

聖ヨゼフ学園の教育は、キリストによって示された神、聖書とカトリック教会の伝統に基づく世界観・人間観に基礎を置き、神と人を大切にして互いに愛し合うことのできる人の育成をめざしています。



アトムメントのフランシスコ会会員である初代校長勝野巖神父は、戦後の荒廃した社会の中で、確かなよりどころもないままに精神も荒んだ生活をしている人々の姿を見て、何時でもどんな状況でも変わらない正しい価値判断力と、真の奉仕の精神（愛）と、良心の勧めに従って行動できる強い意志を持って生きることの必要性を感じました。そのような状況の中でアトムメントのフランシスコ会はカトリックの教えをもとに子どもたちを導きたいと願い、学園を設立しました。今日でも国家間、民族間、宗教間、党派間、グループや個人の間で対立や争いが絶えず、神に背いた利己的な考えや欲望に支配された行動が目立ちます。カトリック教会は「キリストの姿」を、このような罪深い人間をも愛し、大切にして、救おうとなさる神の絶大な愛のしるしと理解しています。

聖ヨゼフ学園が目指す教育は、信（神を信じ）、望（神の約束の実現を希望し）、愛（神の愛ゆえに神を愛し、人々を愛する）を校訓とし、キリストと一致して生きることによって、あらゆる問題に対して、他人事とせず自らの問題として積極的にとらえ、人々の真の平和と幸福を自らの手で作り出すことのできる人を育てることです。



中学・高等学校の教育目標

よく学び努力する人、知恵のある人

誠実に学ぶことによって、自己実現の可能性が広がります。

私たちは、生徒一人ひとりが与えられた固有の能力や資質を最大限に発揮して、そのいのちを全うすることができるように育てます。

知恵は知識を生かすことであり、より高い価値に近づこうとする働きです。

そのために、知識を得るだけの学びではなく、知識が知恵に高められるようにします。

いのちを喜び、感謝と奉仕の心をもって生きる人

カトリックの価値観に基づいた正しい自己受容は、生徒一人ひとりが主体的に生きていくための原動力です。正しい価値判断力といのちを尊重する感性を身につけ、真の奉仕の精神（愛）と、良心の勧めに従って行動できる強い意志を持って生きることができるようになります。

●聖ヨゼフ学園校章



中央の十字はキリスト教の普遍的な象徴となっている十字架の印です。それはすべての人を救うために、イエス・キリストが愛の犠牲となって釘付けされて死に給うた十字架です。

それは、罪深い人類に対する神の限りない愛とあわれみを最も端的に表しています。

十字架を囲んでいるS・JはSt. Joseph（聖ヨゼフ）の頭文字です。聖ヨゼフは神の子イエスを養育されました。

学園は、この聖ヨゼフに保護を願って設立された、カトリック鶴見教会附属の学校として開設されましたので、校名にも聖ヨゼフの名が冠せられました。

教育内容

教育課程（平成23年度）

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
1	国語	国語	国語	国語総合	現代文	国語表現Ⅰ	
2						現代社会	
3							
4							
5	社会	社会	社会	世界史B	日本史B 地理B	体育	
6							
7							
8	数学	数学	数学	数学Ⅰ	世界史総合 日本史総合 物理Ⅰ・生物Ⅰ	リーディング	
9							
10							
11							
12	理科	理科	理科	化学Ⅰ	数学Ⅱ	数学総合	
13					芸術Ⅱ		
14	技術・家庭	技術	技術	体育		数学B	古典
15					物理Ⅱ 生物Ⅱ	現代文特講	
16	英語特講						
17	音楽	技術・家庭	技術・家庭	保健	理科基礎 理科総合B	古典特講、数学A、被服研究 食物研究、体育研究	
18	美術						
19	音/美/書	音楽	音楽	芸術Ⅰ	体育	世界史特講 日本史特講 政経・倫理、芸術Ⅲ 化学Ⅱ	
20	保健体育	美術	美術				
21		保健体育	保健体育	保健体育	家庭基礎		保健
22							
23	英語	英語	英語	英語Ⅰ	英語Ⅱ	古典、古典講読 数学C、数学研究	
24							
25						数学Ⅲ	地歴研究 英語研究
26							地理特講、漢文特講 理科研究 コミュニケーションスキル
27	英語/理科	ライティング	ライティング	オーラルⅠ	オーラルⅠ	総合（宗教）	
28	英会話	英会話	英会話	情報A	情報A	LHR	
29	総合	総合	総合	総合（宗教）	総合（宗教）		
30	宗教	宗教	宗教	LHR	LHR		
31	LHR	LHR	LHR				
32							

中学の教育課程は平成24年度から実施される新課程の時間数に対応しています。

時間割例（平成23年度）

中学校1年A組

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目	社会	国語	英語	英語	美術
2時間目	数学	保健体育	保健体育	理科	英会話
3時間目	技術・家庭	数学	数学	保健体育	数学
4時間目	技術・家庭	理科	社会	社会	国語
5時間目	国語	音楽/美術/書道	理科	国語	理科
6時間目	英語	英語	宗教	音楽	英語
7時間目	総合的な学習の時間			LHR	

高等学校2年A組

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目	現代文	日本史総合 世界史総合 生物Ⅰ 物理Ⅰ	英語Ⅱ	日本史B 地理B	数学総合 数学Ⅱ
2時間目	理科基礎 理科総合B	古典 数学B	現代文	日本史B 地理B	日本史総合 世界史総合 生物Ⅰ 物理Ⅰ
3時間目	ライティング	古典 数学B	日本史B 地理B	理科基礎 理科総合B	現代文
4時間目	オーラルコミュニケーションⅠ	数学総合 数学Ⅱ	古典 数学B	英語Ⅱ	ライティング
5時間目	日本史総合 世界史総合 生物Ⅰ 物理Ⅰ	体育	数学Ⅱ 音楽Ⅱ 美術Ⅱ 書道Ⅱ	保健	情報A
6時間目	総合的な学習の時間 (宗教)	体育	数学Ⅱ 音楽Ⅱ 美術Ⅱ 書道Ⅱ	現代文	英語Ⅱ
7時間目	英語Ⅱ			LHR	

学校概要

教科別教員数（平成23年度）

校長	1	教頭	1
----	---	----	---

教科	国語	社会	数学	理科	英語	芸術	保健 体育	技術 家庭	宗教	情報	司書	養護
専任	5	4	5	5	7	2	3	1	1	1	1	1
講師	1	2	1	1	3	3		2		1		

*英語科のネイティブ・スピーカーは、常勤講師2名です。

在籍生徒数（平成23年6月現在）

中学	高校	総数
237	228	465

■ 生徒居住地区分布図（平成23年度）



宗教・人間教育

ミサ

学園の最も大切な宗教行事がミサです。聖書の言葉にふれ、神様との交わりを通してキリストの愛をもたらす者となっていくのです。

4月	前期始業ミサ	新たに始まる学園生活の充実を願って祈ります。
7月	夏休み前のミサ	夏休みの安全と、前期の感謝を祈ります。
10月	後期始業ミサ	後期の学園生活のために祈ります。
11月	追悼ミサ	お亡くなりになった学園関係者のために祈ります。
12月	クリスマスミサ	イエス・キリストの降誕と世界の平和のために祈ります。
1月	学園創立記念ミサ	学園の歴史に感謝しながら、未来への決意を新たにします。
3月	卒業記念ミサ	卒業の喜びと感謝を、全員で祈ります。

上記以外に、毎週一回自由参加のミサが行われ、多くの生徒や児童が参加しています。また、各学年の修養会では、学年のミサが捧げられます。

宗教行事

中学一年 聖書贈呈式

入学後のオリエンテーションで、学園長神父様から一人ひとり聖書をいただきます。神様の救いの歴史を記した聖書は、これから始まる学園生活の大切な指針となります。

聖母マリア 祈りの花束贈呈式

5月は聖母マリアに捧げられた月です。全校生徒が作ったお祈りのカードを、祈りの花束として捧げます。

生命尊重学習会 生命の尊さと女性としての生き方を学びます。

学 年	テ ー マ	ね ら い	指 導 者
中学1年	子供から大人へ	自分の体についてよく知る	養護教諭
中学2年	異性	男性・女性の違いを知る	保健体育科
中学3年	身体の成長と心の成長	自己の存在価値を自覚する	舩松 克代 臨床心理士
高校1年	女性と医療	女性の体を知る・自己の現状を見つめる	堀口 雅子 虎ノ門病院産婦人科医
高校2年	人権	高度情報化社会の中で、流されない自分	品田 典子 カトリック中央協議会
高校3年	愛	自分は誰の手助けができるのか	藤本 禮子 音楽療法士

修養会

神父様やシスターのお話を聞いたり、作業を通して自分自身をみつめる一日です。

学 年	テ ー マ	指 導 者
中学1年	かけがえのない「わたし」	Sr.成瀬 環
中学2年	心の旅（自分の心の成長のために）	Fr.ムケンゲシャイ・マタタ
中学3年	奉仕の心を育てよう	Fr.西 経一
高校1年	「わたし」にできること	Fr.英 隆一朗
高校2年	仕合せとは	Fr.川村 信三
高校3年	愛「結婚を考える」	Fr.谷崎 新一郎

修養会ノートより（高校1年 英（はなぶさ）隆一朗神父様指導）

第一講話では「感謝」についてのお話でしたが、特に二人のホームレスの話が印象に残りました。全く同じ環境にいる二人のはずなのに、一人は新しい部屋に大喜びで、もう一人は今の自分を嘆いてばかりいる。いったいどちらが幸せなのか、考え方一つでそんなにも違ってくのだと改めて気づかされました。私も普段から、できるだけプラス思考を努めています。今回はその考え方が間違っていなかったのだと嬉しく思いました。また、家族と一緒に食事ができることが幸せだという人たちの話もありました。私にとっては当たり前のことで、特に感謝や幸せを感じるようなことではなかったのですが、これからは身近な何気ないことに感謝しながら過ごすことによって、もっと楽しい人生になるかなと思いました。

第二講話でも「辛さや苦しみへの考えかた」として苦しみや辛さから逃げずに、それを分けて考えていくということでした。また、先のことを悩まないで今を生きればよいということも話して下さいました。その話を聞いて、これから受験や人生の壁にぶつかったとき、悩みすぎず、一つ一つしっかりと乗り越えていこうと思いました。

そして何より今回、友達とお互いの良いところを書き合った作業、最初はあらためて自分の気持ちを文字にして伝えることに恥ずかしさを覚えました。友人からもらった自分へのカードを読んでいたらとても嬉しくなりました。今回のテーマ「私にできること」ということで、自分の良いところや恵まれているところを私自身が気づき、認め育てていくうちに、周りの人たちにしてあげられることが増えていくのかなと感じました。高校一年の今、英神父様のお話を聞くことができ良かったです。

高校1年 Y.I

進路・進学

進路状況

本校では6年間の学園生活を通じて、自らの力で考え、自分にふさわしい進路選択をすることができるように指導しています。また高校2年生以上の選択授業では、少人数であっても希望の講座を開講するなど、生徒の進学希望に即したサポート体制をとっています。

本校の進路の特徴は、進学の分野が多岐にわたることです。生徒が自分自身で考え、各自の適性に応じ、選択をした結果、自分自身を伸ばすことのできる様々な分野を選択しています。また、進学先として四年制大学を希望する生徒が多く、実績も残しています。

昨今の大学入試事情の変化に対応し、生徒の進路実現のため、それぞれの入試の方式に応じた論文指導や面接指導など様々な指導体制で臨んでいます。

上記のような指導体制の結果、近年は四年制大学への進学実績は80%近くを維持しています。また国公立大学、難関私立大学へ一般入試で挑戦する生徒もおり、着実に実績を伸ばしています。

来年度の指定校推薦を予定している首都圏のおもな学校は以下の通りです。

<姉妹校推薦>

白百合女子大学

<カトリック校推薦>

上智大学

<指定校推薦>

四年制大学：聖心女子大学、清泉女子大学、東京純心女子大学、東洋英和女学院大学、フェリス女学院大学、麻布大学、大妻女子大学、関東学院大学、共立女子大学、恵泉女学園大学、工学院大学、駒沢女子大学、相模女子大学、実践女子大学、昭和音楽大学、聖徳大学、玉川大学、中央大学、鶴見大学、東京家政大学、東京工科大学、東京工芸大学、東京女学館大学、東京聖栄大学、東京電機大学、東京農業大学、二松学舎大学、文教大学、武蔵大学、明星大学、目白大学、横浜薬科大学、立正大学、他

短期大学：上智短期大学、カリタス女子短期大学、星美学園短期大学、共立女子短期大学、国際短期大学、駒沢女子短期大学、実践女子短期大学、白梅学園短期大学、自由が丘産能短期大学、湘南短期大学、女子美術大学短期大学部、昭和音楽大学短期大学部、聖セシリア女子短期大学、聖徳大学短期大学部、鶴見大学短期大学部、横浜創英短期大学、大妻女子大学短期大学部、他

専門学校：聖心女子専門学校、聖マリアンナ医科大学看護専門学校、他

最近5年間の大学合格者数一覧（一部抜粋・浪人を含む）

国公立大学

合格年度	2007	2008	2009	2010	2011
お茶の水女子		1			
神奈川県立保健福祉	1	1		2	1
首都大学東京	1			1	
信州					1
東京外国語		1		2	
東京学芸					1
東京芸術			1		
東京農工	1				
横浜国立					1
横浜国立	1				
琉球				1	

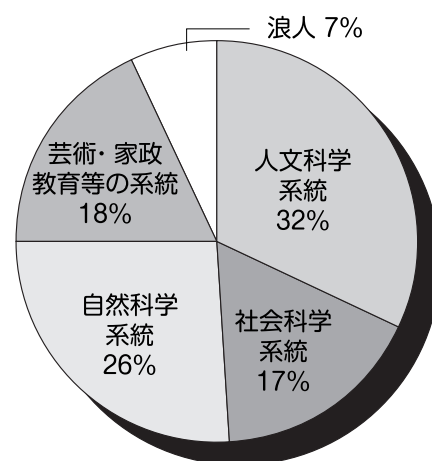
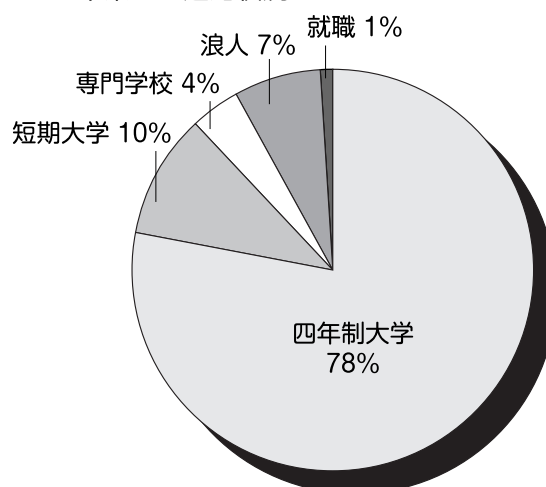
私立大学

合格年度	2007	2008	2009	2010	2011
青山学院	5	2	1	2	1
麻布		1			1
桜美林	1			3	2
大妻女子		1		4	3
学習院	2		3	4	
学習院女子				1	
神奈川	8	7	4	6	3
鎌倉女子		2	2	1	
関東学院	7	8	5	1	1
北里	2	1	2		
慶應義塾	3	3	3	1	2
恵泉学園	10	2	5	4	4
工学院	1	2		2	
國学院	3			1	1
国際基督教（ICU）				1	
相模女子	2		5	2	2
実践女子	1	3	2	1	1
芝浦工業		1	2	1	
上智	3	2	5	5	2
昭和				2	1
昭和音楽			1	1	
昭和女子	3	2	1	3	2
女子美術	1		1	1	1
白百合女子	8		4	5	1
聖心女子	7	4	7	6	4
清泉女子	2	1	3	6	
聖マリアンナ医科			1		
聖路加看護		1			
専修		2		3	2
洗足学園音楽	2		1		
玉川	2	3	1	4	4
多摩美術	1	1	1	1	
中央		2	1	2	1
津田塾		1		1	
田園調布学園			2	1	1
東海	1	1	1	5	
東京医療保健				2	2
東京家政			1	1	1
東京工科		1	3		4
東京工芸	2	5		1	
東京女子	2	4	2	2	
東京女子体育			1		
東京造形	1		2	4	2
東京電機		2		1	2
東京都市	1	1	1	1	
東京理科	1			1	1
同志社				1	
東洋英和女学院	12	4	4	9	6
南山				1	
日本	7	5	1	4	6
日本女子	2	4	4	1	3
フェリス女学院	5	4	2	1	1
文化女子	1	1	4	4	
法政	1	2			1
武蔵野美術	1			3	
明治	1	1	1	2	1
明治学院	11	9	3	6	6
立教	3	3	2	3	2
立命館				1	
早稲田		1	3	5	2
卒業生数	85	73	77	75	72

2011年3月卒業生（72名）進路状況

四年制大学	56
短期大学	7
専門学校	3
浪人	5
就職	1
卒業生数	72

卒業生の進路状況



卒業生が語る聖ヨゼフ学園

2000年卒（38回生） 椿 歌子

東京大学大学院 総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程

「出身校は聖ヨゼフ学園です。」私は世界のどこに行っても自信をもってそう言えます。

どこでそんなに流暢な英語を身につけたの？—聖ヨゼフ学園です。

どうしてそのような研究に興味をもったの？—きっかけとなったのは聖ヨゼフ学園です。

現在、私はフランス文化史の研究をしながら、大学と高校でフランス語と英語の授業を担当しています。また、英語、フランス語、イタリア語の翻訳の仕事にも携わっています。そのような語学力を身につけるきっかけを私に与えてくれたのは、他でもなく、聖ヨゼフ学園での教育でした。

第一に、私にとって聖ヨゼフ学園は、私のもつ様々な疑問に答えてくれる学校でしたし、さらに、興味を持てば何でもやらせてくれる学校でもありました。

たとえば、聖ヨゼフ学園は、カトリックの精神に基づく学校ですが、その信仰を生徒に強要するようなことはありません。ただし、疑問や関心をもった生徒には、それに応える準備が先生の側でいつでも整っているのです。同じように、英語のネイティブスピーカーの先生は、授業以外の時間でも、希望すれば熱心に発音の指導をしてくださいましたし、国語の先生は、最近この本を読んだと持っていけば、喜んで議論を交わしてくださいました。このように、生徒の主体性を尊重した教育が、聖ヨゼフ学園ではなされていました。

英語に人一倍の興味を示した私に、学園は、英語弁論大会に出場するチャンスを与えてくれました。それも、一度ではなく、何度も。私は校内外のスピーチコンテストを通して、英語力に磨きをかけ、弁論術を学び、論理的な文章の書き方を身につけていきました。これらの能力は、今でも、外国語で論文を執筆したり、学会で発表するたびに大いに役立っています。このように書くと、まるで私だけ特別に出来が良くて、よい機会に恵まれていたと思われる方もいるかもしれませんが、当時、全国レベルにまでのぼりつめていたのは、私一人ではありませんでした。私の周囲には、囲碁・ヨット・スケート・水泳・書道などの各分野において、全国大会出場を繰り返す友人がいたのです。先生方は、このような生徒たちの努力を正当に評価してくださり、心から応援し、可能な限り手助けをしてくださいました。

卒業して10年以上の月日が経ちました。聖ヨゼフ学園で養われた勉強への意欲や好奇心、熱意は、今もって変わることがありません。私は、このような永続的な教育を施してくれた聖ヨゼフ学園に心から感謝していますし、現在、世界で活躍している同窓生のすべてが、同じ気持ちであることを確信しています。

2009年卒（47回生） 杉本 彩絢 慶應義塾大学文学部人文社会学科国文学専攻

自室の勉強机に置いてある写真立てには、高校三年生の6月頃に撮った写真が飾ってあります。日常のとある一日に撮影されたもので、白い袖のセーラー服に身を包んだ17歳の私たちが、何の他意もなく弾けるように笑っている写真です。今年21になる私は、今でも時おり、ふとその写真に見入ることがあります。つい昨日のこのようにも、またはとてつもなく遠い過去のこのようにも思われるその写真は、何か大事なことを訴えかけるように私の胸に迫ってきます。そのように思わず写真を眺めるとき、私はいつもこう思うのです。聖ヨゼフ学園で過ごした日々は、私の中に、原体験となって流れているのだなあと。

原体験、というと、もちろん友人との様々な思い出がとめどもなく浮かんできます。日常の何もかもを忘れて全力で打ち込んだ体育祭や、放課後まで残って準備にいそしんだ文化祭。笑いの絶えなかった教室の光景や、仲間と部活に捧げた夏休み…。そんな様々な光景の断片が、目を閉じるとわっとひとえに浮かび上がるのです。私は、聖ヨゼフ学園は沢山の原風景を与えてくれる場だったのだと、今になってよくそう思います。

また聖ヨゼフ学園での日々を振り返ったときに、これらの思い出を懐かしむと同時に、私には実は、もう一つ感じ入る原体験があります。それは、6年間を通して、すごく沢山の“文章を書いた”という経験です。私は小さな頃から文章を書くことが大好きで、今では、文章を通して社会に対し何かを発信できる人になることが私の夢となっています。今私はある出版社の編集部でアルバイトをし、コピーライターを養成するダブルスクールに通いながら、自身の書いた小説を文芸賞に投稿する日々を送っているのですが、私がこのように、幼い頃からの夢を今も抱き続けていられるのは、紛れもなく聖ヨゼフ学園のおかげであると思っています。聖ヨゼフ学園では、春・夏・冬の休みの度に自由作文が宿題として課せられました。休みの度に、何を書こうかとわくわくし、精を出してその宿題に励んでいたのが思い返されます。そして校内作文コンクールで毎年優勝するようになると、先生方が校外のコンクールを沢山私に紹介して下さるようになりました。私は中高6年間を通し、確か20あまりの懸賞作文に投稿したように思います。

国語科の先生を始め、学園の先生方が皆、私が文章を書ける環境を整えて下さっていました。「読んだよ。良かったよ」「感動したよ」そう声をかけてくれた先生が何人いたか知りません。当時はそこまで意識したことはなかったのですが、先生方が私にくださったこれらの姿勢は、私の中で本当に大きな糧となっています。私が今でも変わらずに文章を書き続けていられるのは、先生方が私の文章にきちんと向き合ってくれたこの6年間があるからなのです。私が文を書くことを見守ってくれた学園を思うと、私は今、涙が出るほどに胸がいっぱいになります。

机の上の写真を見るときに心が揺さぶられるような思いになるのは、これら全てのことが胸に迫るからなのでしょう。もうすぐ就職活動を迎え、どこかでそれぞれの夢に向かう友人たちも、写真を見るたび、目を閉じるたびに同じ思いに胸を震わせると思います。温かく見守ってくれていた聖ヨゼフ学園の日々を、原体験として思い出して。

募集要項

	A方式1次	A方式2次
試験日	2月1日(水)	2月3日(金)
募集人数	25名	15名
	(A方式には若干名の帰国子女も含まれます)	
出願資格	平成24年3月小学校卒業見込みの女子 帰国子女は継続して2年以上海外の学校に在籍し平成21年以降に帰国した者で、保護者の元から通学できる者	
出願期間	1月6日(金)～1月27日(月) 午前9時～午後4時 ※土曜・日曜を除く 1月9日(月・祝) 午前9時～午後2時	1月6日(金)～1月27日(金) 午前9時～午後4時 ※土曜・日曜を除く 1月9日(月・祝) 午前9時～午後2時 2月1日(水) 午前9時～午後8時 2月2日(木) 午前9時～午後8時
出願手続き	学園窓口に、以下のものをご提出ください。 ・入学願書 ・小学校6年時の通知表(表裏)のコピー ・作文(※帰国子女のみ) ・入学考査料 20,000円 ※A方式1次2次の両方に出願できます。	
面接試験	受験生と保護者との同伴面接 約10分 ※面接日時は出願時にお知らせいたします。	
	1月14日(土)・15日(日)・21日(土)・22日(日)・ 2月1日(水) 筆記試験終了後 のいずれか1日	1月14日(土)・15日(日)・21日(土)・22日(日)・ 2月3日(金) 筆記試験終了後 のいずれか1日
試験科目	2科目(国語・算数)または4科目(国語・算数・社会・理科)の選択 国語 100点(45分) 算数 100点(45分) 社会・理科 各50点(併せて45分)	
試験時間	2月1日(水) 午前8時30分 集合 国語 8時50分～9時35分 算数 9時45分～10時30分 社会・理科 10時40分～11時25分	2月3日(金) 午前8時30分 集合
合格発表	2月1日(水) 午後5時～午後7時 2月2日(木) 午前9時～正午 (同時にホームページ掲示も行います)	2月3日(金) 午後5時～午後7時 2月4日(土) 午前9時～正午 (同時にホームページ掲示も行います)
	※上記時間内に、学園窓口にて受験票をご提示の上、封書をお受け取りください。 本校事務室にて上記時間内に合否通知を受領されない場合は、合格辞退となりますので、ご注意ください。	
入学手続き	2月1日(水) 午後5時～午後7時 2月2日(木) 午前9時～午後4時 2月3日(金) 午前9時～午後7時 2月4日(土) 午前9時～午後7時 2月5日(日) 午前9時～午後4時 2月6日(月) 午前9時～午後4時	2月3日(金) 午後5時～午後7時 2月4日(土) 午前9時～午後7時 2月5日(日) 午前9時～午後4時 2月6日(月) 午前9時～午後4時
	※入学金と施設設備資金を学園窓口にて納入していただくか、振込みの場合は、領収書を窓口にご持参ください。	
納付金	入学金 200,000円 施設設備資金 140,000円	
オリエンテーション	2月11日(土・祝) 午前10時～12時	

B 方 式	
試験日	2月4日(土)
募集人数	10名
出願資格	平成24年3月小学校卒業見込みの女子
出願期間	1月6日(金)～1月27日(月) 午前9時～午後4時 ※土曜・日曜を除く 1月9日(月・祝) 午前9時～午後2時 2月1日(水)～2月3日(金) 午前9時～午後8時
出願手続き	学園窓口に、以下のものをご提出ください。 ・入学願書 ・小学校6年時の通知表(表裏)のコピー ・入学考査料 20,000円 ※A方式とは別途お納めください。なお、A方式に出願され、B方式試験日前日(2月3日午後8時)までに入学手続きをなさった場合は考査料を返還いたします。
面接試験	受験生と保護者との同伴面接 約10分 ※面接日時は出願時にお知らせいたします。 1月14日(土)・15日(日)・21日(土)・22日(日)・2月4日(土) 筆記試験終了後 のいずれか1日
試験科目	2科目(総合・算数) 総合 100点(45分) 算数 100点(45分)
試験時間	2月4日(土) 午前8時30分 集合 総合 8時50分～9時35分 算数 9時45分～10時30分
合格発表	2月4日(土) 午後5時～午後7時 2月5日(日) 午前9時～正午 (同時にホームページ掲示も行います) ※上記時間内に、学園窓口にて受験票をご提示の上、封書をお受け取りください。 本校事務室にて上記時間内に可否通知を受領されない場合は、合格辞退となりますので、ご注意ください。
入学手続き	2月4日(土) 午後5時～午後7時 2月5日(日) 午前9時～午後4時 2月6日(月) 午前9時～午後4時 2月7日(火) 午前9時～午後4時 2月8日(水) 午前9時～午後4時 ※入学金と施設設備資金を学園窓口にて納入していただくか、振込みの場合は、領収書を窓口にご持参ください。
納付金	入学金 200,000円 施設設備資金 140,000円
オリエンテーション	2月11日(土・祝) 午前10時～12時

募集要項

全日程に共通する注意事項

1. 出願

- ・別日程の試験に同時出願する場合、願書は1枚で、所定の欄に○をつけてください。
- ・出願手続き完了後、別日程の試験に追加出願する場合は、既にお持ちの受験票をお持ちになり、本校事務室に申請してください。新たに願書を提出する必要はありません。
- ・願書の※の部分は、何も記入しないでください。

2. 面接試験

- ・指定の日時に面接を受けることが困難な場合は、出願の際にお申し出ください。
- ・複数の試験に出願している場合も、面接は1回のみとなります。

3. 筆記試験

試験当日は、受験票、筆記用具、上履きを持参してください。

4. 合格発表

- ・合否通知は所定時間内に本校事務室でお渡ししています。所定時間内に合否通知を受領されない場合は、合格辞退となりますので、ご注意ください。
- ・合格発表はホームページにも掲載しています。アクセス方法などにつきましては受験当日にお知らせいたします。(ホームページに掲載された合格発表は仮のものであり、正式な合否通知は必ず所定時間内に本校事務室で受領し、ご確認ください。)

5. 入学手続き

- ・所定の日時に入学手続きが完了していない場合は、入学辞退となります。
- ・手続後、入学を辞退した場合は、納入された入学金はお返しできませんのでご了承ください。なお、納入された施設設備資金は、入学手続き後2012(平成24)年3月30日(金)までに所定の手続きによって入学を辞退した場合、返金いたします。

6. 初年度校納金(入学金、施設設備資金を除く)

項目	月額	項目	年額
授業料	27,000円	教材費(予定)	90,000円 (年3回分納)
施設設備維持費	10,000円	諸会費	20,000円
教育振興費	15,000円	その他(制服・カバン・体操服等)	約150,000円
小計	52,000円	計	約260,000円
(年額計)	624,000円		

* 寄付金や学校債はありません。また、修学旅行費などは教材費の積み立てでまかなう予定です。

各日程の入学試験に関する注意事項

A方式入学試験

- ・筆記試験の受験科目の選択(2科目・4科目)は、願書に記入してください。ただし出願後の変更はできません。
- <帰国子女生に関する注意>
- ・出願の時点あるいはその直前まで海外に在住している場合、現地の学校の成績表のコピーを提出してください。ただし、英語、日本語以外の言語で書かれている場合は、その日本語訳を添付してください。
 - ・出願時に作文を提出してください。テーマは「外国での食生活」、800字以内(原稿用紙2枚)です。
 - ・願書裏面に「国外での居住歴」の欄がありますので、必ずご記入ください。

提出された書類に掲載されている個人情報、**「聖ヨゼフ学園個人情報保護方針」**に基づいて細心の注意を払い取り扱います。

平成23年度 聖ヨゼフ学園中学入試結果

合格者数

日程	A方式1次		A方式2次		B方式
	2月1日		2月3日		2月4日
科目数	4科目	2科目	4科目	2科目	
募集人数	25		15		10
出願者数	26	15	32	19	44
受験者数	21	14	13	7	10
合格者数	16	8	9	4	8
合格最低点	153	104	150	104	93

科目別得点結果

	満点	A方式1次		A方式2次		B方式	
		最高点	平均点	最高点	平均点	最高点	平均点
国語	100	87	55.0	81	56.6		
算数	100	79	53.8	87	53.1	66	51.1
社会	50	37	28.3	31	22.2		
理科	50	49	36.1	44	26.9		
総合	100					85	52.9
2科目	200	154	108.9	161	110.2		
4科目	300	224	175.1	220	161.9		
B方式	200					142	104.0

Q&A

- Q** B方式の入試科目「総合」の問題はどのようなものですか？
- A** 国語を基礎とした理科的・社会的内容の設問に対し文章などで表現する形式です。大設問は2～3題で小学校生活など日常で体験したことや知っておいて欲しいことを含めた問題となっています。昨年度の問題を無料配布しておりますので、どうぞ学園事務にお声がけください。
- Q** 保護者同伴面接ではどのようなことが質問されるのですか？
- A** 面接の時間は10分ほどで、質問の内容は志望理由や中学入学後に取り組みたいこと、ご家庭における教育方針などをお聞きします。質問するというよりも、面接を一つの出会いの場としていますので、特に事前の練習などは必要ありません。
- Q** 面接はいつ行われるのですか？
- A** 面接は1月の第3、第4土曜日・日曜日と試験終了後を中心として行われます。原則として受験番号順に行いますが、他の面接日も予定しておりますので、ご都合が悪ければ出願の際、遠慮なく申し出てください。
- Q** 受験資格の中に通学区域の制限がありますか？
- A** 通学区域の制限はありません。朝礼の始まる8時15分までに登校可能であれば結構です。
- Q** 学校説明会以外に学校見学や個別相談などができますか？
- A** 事前にご連絡いただき、確認をとっていただければいつでも結構です。
- Q** 聖ヨゼフ学園小学校出身の生徒との友達づくりはできますか？
- A** 入学してすぐに2泊3日のオリエンテーションがあります。そこでは友達づくりのためのいろいろなプログラムが準備されています。また、5月の体育祭、7月の球技大会など、クラス・学年で取り組む行事がありますので、すぐに友達ができます。
- Q** 小学校の時に英語の勉強をしていなくても大丈夫ですか？
- A** 中学1年生では、英語の基礎からきちんと学習します。また1クラスを2分割して授業を行うなど、きめ細かく対応しています。
- Q** 給食、食堂はありますか？
- A** ありません。お弁当になりますが、パンや牛乳などの飲み物を買うことはできます。
- Q** 入学後は、日曜日に必ず教会に行くのですか？
- A** 強制ではありません。各自の自由です。
- Q** 中学から高校へは全員が進学できるのですか？
- A** 中学から高校へは推薦によって進学が決まります。きちんと学習していれば問題ありません。
- Q** 入学後も塾に通わないといけませんか？
- A** 塾に通っている生徒もいますが、日々の学習にきちんと取り組んでいけば大丈夫です。放課後に補習の制度もあります。

受験番号	※
------	---

本 人	ふりがな		生 年 月 日	平成 年 月 日生	写 真 3 cm × 4 cm
	氏 名				
在学小学校	立	小学校卒業見込			
保護者	ふりがな		続柄		
現住所	〒 -				
	Tel 緊急連絡先(携帯等)				

受 験 方 式	A方式1次試験		A 方 式 受 験 科 目	1次試験	2科目〔国・算〕		帰国子女入試選抜
	A方式2次試験			4科目〔国・算・理・社〕			
	B方式受験			2次試験	2科目〔国・算〕		
					4科目〔国・算・理・社〕		

- ・出願する受験方式の欄に○をつけてください。
- ・A方式に出願する場合は、2科目受験か4科目受験のどちらかに○をつけてください。
- ・帰国子女入試選抜を希望する方は、右欄に○を付け裏面の国外での居住歴にご記入ください。裏面にも記入欄があります。

入学考査料受領証

氏名		受験番号	※
円			
入学考査料として上記の金額を受領致しました。			
平成24年 月 日 聖ヨゼフ学園中学校			

聖ヨゼフ学園中学校 受験票

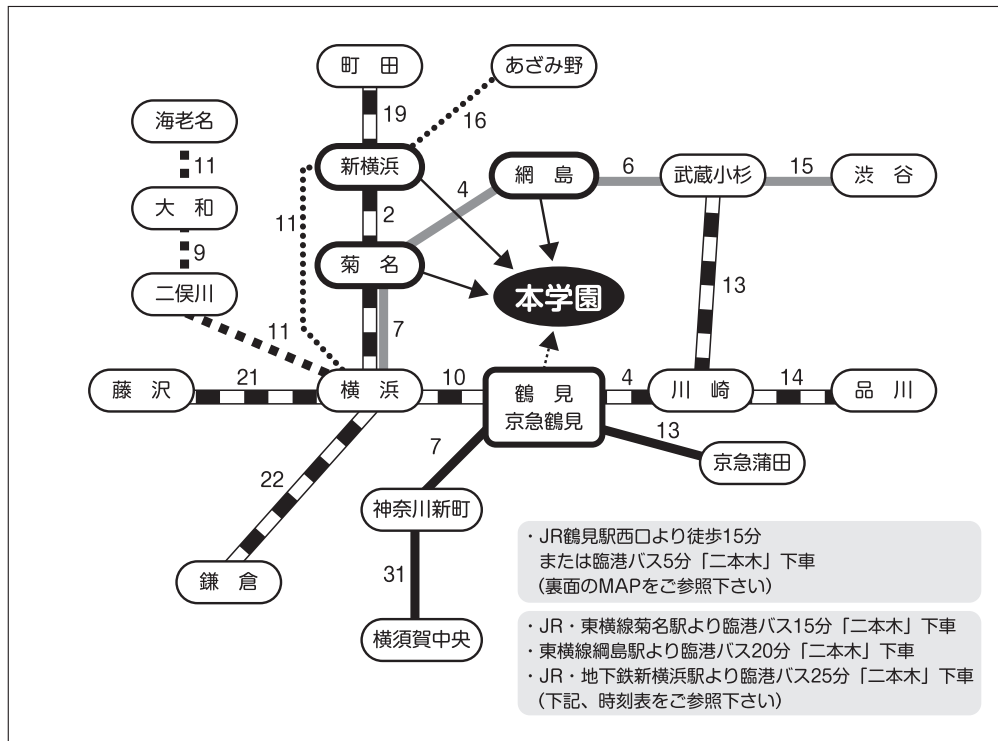
ふりがな		氏 名		受験番号	※		
氏 名							
受 験 方 式	A方式1次試験		A 方 式 受 験 科 目	1次試験	2科目〔国・算〕		写 真 3 cm × 4 cm
	A方式2次試験			4科目〔国・算・理・社〕			
	B方式受験			2次試験	2科目〔国・算〕		
					4科目〔国・算・理・社〕		
※面接時間	平成24年 月 日() 午前 時 分頃 午後						

※この票をもって入学考査料領収書にかえさせていただきます。

◎帰国子女の方は下記欄にご記入下さい。

国外での居住歴	在 住 期 間	国 名	在籍した学校名
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
備考			

交通路



臨港バス時刻表 (2011年5月現在)

●菊名駅前 発

鶴01 鶴見駅西口 行き (二本木バス停まで約15分)

時	平日	土曜	日曜
6	36 44 48 53 57	38 49 58	35 49 58
7	04 09 15 21 27 33 39 45 51 57	08 16 24 32 40 48 56	08 16 24 32 40 48 56
8	03 09 15 21 27 33 39 45 51 57	04 12 20 28 36 44 52	04 12 20 28 36 44 52
9	03 08 13 18 23 32 41 50 59	02 10 18 26 34 42 51	02 10 18 26 34 42 51
10	08 17 26 35 44 53	00 09 18 27 36 45 54	00 09 18 27 36 45 54
11	02 11 20 29 38 47 56	03 12 21 30 39 48 57	03 12 21 30 39 48 57
12	05 14 23 32 41 50 59	06 15 24 33 42 51	06 15 24 33 42 51
13	08 17 26 35 44 53	00 09 18 27 36 45 54	00 09 18 27 36 45 54
14	02 11 20 29 38 47 56	03 12 21 30 39 48 57	03 12 21 30 39 48 57
15	05 14 23 32 41 50 59	06 15 24 33 42 51	06 15 24 33 42 51
16	08 17 26 35 44 52 59	00 09 18 28 37 46 56	00 09 18 28 37 46 56
17	06 12 19 26 33 41 49 57	06 16 26 36 46 56	06 16 26 36 46 56
18	05 13 21 27 35 43 51 59	06 16 26 36 46 56	06 16 26 36 46 56
19	07 15 23 31 36 42 47 53 59	06 16 24 34 44 54	06 16 24 34 44 54
20	05 11 18 25 32 39 47 55	04 14 24 36 49 57	04 14 24 36 49 57
21	03 10 17 24 31 38 45 52 59	09 21 34 45 58	09 21 34 45 58
22	06 13 27 41 55	10 34 59	10 34 59
23	11 28(深)	26(深) 53(深)	
24	29(深)		

●網島駅 発

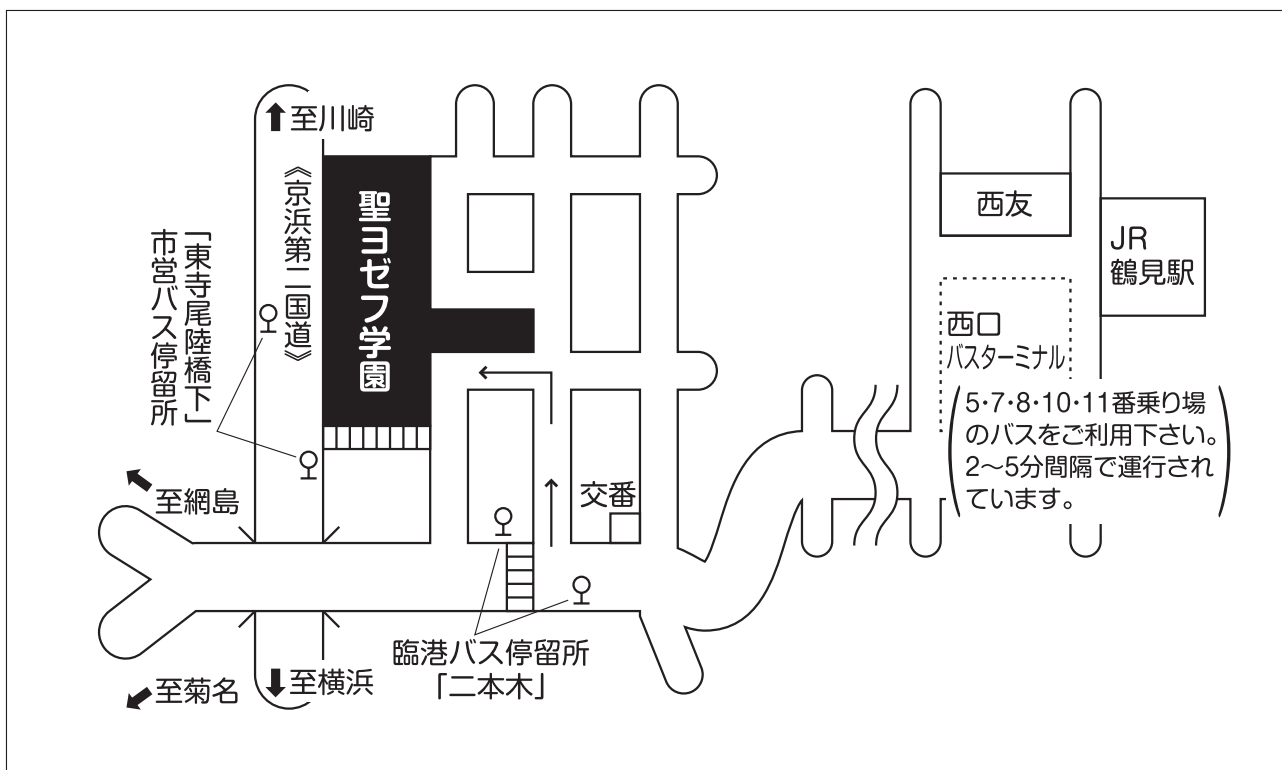
鶴03 鶴見駅西口 行き (二本木バス停まで約20分)

時	平日	土曜	日曜
6	05 20 30 37 42 48 53 59	05 19 31 44 51 59	05 19 31 44 51 59
7	04 09 14 19 24 29 34 39 44 49 54 59	06 14 21 29 36 44 51 59	06 14 21 29 36 44 51 59
8	04 09 14 19 25 30 35 40 45 51	06 14 21 29 36 44 51 59	06 14 21 29 36 44 51 59
9	01 13 23 33 44 55	06 14 25 35 45 55	06 14 25 35 45 55
10	05 16 27 37 48 59	05 15 25 35 45 55	05 15 25 35 45 55
11	09 20 31 41 52	05 15 25 35 45 55	05 15 25 35 45 55
12	03 13 24 35 45 56	05 15 25 35 45 55	05 15 25 35 45 55
13	07 17 22 28 39 49	05 15 25 35 45 55	05 15 25 35 45 55
14	00 11 21 32 43 53	05 15 25 35 45 55	05 15 25 35 45 55
15	04 15 25 36 47 57	05 15 25 35 45 55	05 15 25 35 45 55
16	08 19 30 41 52	05 15 25 34 43 51 59	05 15 25 34 43 51 59
17	03 14 25 31 37 43 49 55	07 15 23 31 39 47 55	07 15 23 31 39 47 55
18	01 07 13 19 25 31 37 43 49 55	03 11 19 27 35 43 51 59	03 11 19 27 35 43 51 59
19	01 07 13 20 30 40 50	07 15 23 31 41 51	07 15 23 31 41 51
20	00 10 20 30 40 50	01 11 21 31 41 51	01 11 21 31 41 51
21	00 10 20 30 40 50	02 16 30 44 58	02 16 30 44 58
22	00 10 20 40	12 26 40	12 26 40

●新横浜駅 発

鶴02 鶴見駅西口 行き (二本木バス停まで約25分)

時	平日	土曜	日曜
6	34 44 51	39 58	39 58
7	04 16 27 33 39 45 50	11 21 31 41 56	11 21 31 41 56
8	01 13 25 38 51	10 24 35 46 59	10 24 35 46 59
9	09 32 57	13 29 45	13 29 45
10	21 46	02 19 36 53	02 19 36 53
11	11 36	10 27 44	10 27 44
12	01 26 51	01 18 35 52	01 18 35 52
13	16 29 41	09 26 43 59	09 26 43 59
14	06 31 56	16 32 50	16 32 50
15	09 21 34 46 59	07 24 41 58	07 24 41 58
16	11 20 36 52	15 32 51	15 32 51
17	07 22 39 55	08 25 42 59	08 25 42 59
18	10 25 41 57	16 33 50	16 33 50
19	13 30 46	08 24 41 58	08 24 41 58
20	04 23 57	14 36	14 36
21	32	01 24 49	01 24 49
22	06 41	14 36	14



入試・その他のお問い合わせ

聖ヨゼフ学園中学・高等学校

〒230-0016

横浜市鶴見区東寺尾北台11番1号

[TEL] 045-581-8808

[FAX] 045-584-0831

[URL] <http://www.st-joseph.ac.jp/>